

## (2) 多職種間の連携について

- ①多職種連携といっても、認知症予備軍の方や軽度認知症の方がいても、最初に相談できるのは丸亀市地域包括支援センターだけである。病識があれば専門病院に相談するのですが病識がないと本人を無視してどこにも紹介できない。そういう時に本人の身近にどなたか相談員がいればお願いしたいことがある。町内のネットワークがあったほうがいいのかも？すでにあるのかもしれないが、その町のネットワークに入る方法を知らないので、やはり地域包括支援センターを通すことになると思う。介護サービスを受ければ自然横のつながりができるでしょうが、ごく初期の地域の見守りとなると、その地区の窓口に簡単に「〇〇町の〇〇さんが認知症予備軍だと思われるのでお願いします。」と連絡が取れていないのが現状である。社会福祉協議会に連絡したほうがいいのかでしょうか。
- ②在宅医療に不慣れなかかりつけ医には、訪問看護・介護スタッフとの連携は重要であり、医療介護連携クラウドシステムの活用が期待される。
- ③各職種が「連携することが本人の支援にとって有効である(連携するための手間を上回るだけの利点がある)」ことを実感している必要がある。そのためには「連携をすることで支援がうまくいった」経験を重ねること、およびそのための場・機会を意識して作っていくことが必要。→サービス担当者会議の質を上げる(多職種を呼び込む)、地域ケア会議の頻度を増やすなど。(主任)ケアマネ、地域包括の役割が重要。
- ④上記の意識付けがなければICTの活用は進まない(まずは小さいことでも電話で連絡することから)。
- ⑤職種間で認知症に対する知識も異なるし、実務面での困難さの質的認識が異なるので、グループ討議などでお互いの仕事の内容や知識の吸収ができればよりよいケアの実現に近づけるのではないかとと思う。単なる聞くだけの講演では理解し合えることが難しい。
- ⑥指示書等を通じ基本的には連携が取れるとは思いますが、日々の状態などについては家族等を通じてのやりとりになってしまっている。今後のクラウドシステム等から活用できればと思っている。
- ⑦コミュニティセンターへ公民館へ集合する部落の代表(2人程)が集合して会議を開催する(3~4ヶ月に1回)。多職種の人も参加して協議することで細かい内容について検討できるのではないかと。
- ⑧歯科の立場から能動的に連携を取っていくことは難しいと思われる。例えば、不顕性誤嚥の診断、摂食嚥下訓練等のニーズがあり、答えられる範囲があれば協力できる。
- ⑨多職種参加型講演会も開催されており、多職種の方への告知ができる場があれば良いかと思う。
- ⑩薬局に在宅の話があるときは、ケアマネジャー、看護師からの依頼が多い。在宅の依頼があった時は、薬剤師も含めて連携が必要と考える。
- ⑪地域包括支援センターに伺った際に、地域の中で独居等で通院が定期的にはできず、薬の服用が継続できていない方がいたら教えてほしいと言われ、こういった薬局からの情報提供により、在宅医療、介護サービスにつなげることができることを知った。全薬局への周知が必要と思う。
- ⑫まだまだ情報共有を推進する必要があると思う。クラウドシステムをしっかり活用したい。
- ⑬医療と介護はまだかけ離れているが、お互いの顔の見える関係から理解できていくと思われる。それよりも、看護師同士でも病院ナースは訪問看護もあまり知らないし、施設ナースのことも知らない。前年度から香川県看護協会が看・看連携のモデル事業を行い、今年度は丸亀・多度津地区で引き続き行う。看護協会に入っていない開業医のナースや、市、保健所のナースにも協力してもらい、関係を強化すれば、それが医療と介護の距離を縮める近道だと思う。
- ⑭個人的なつながりはあるが、団体対団体になると難しい。団体の数が多い。
- ⑮正直言ってできていないと感じる。クラウドを使用すれば可能になるかもしれないが、使用している方も多くないと思う。
- ⑯介護保険利用者については、ケアマネジャーが就くことによりサービスの提供や多職種によるサービス担当者会議等が行われている。しかし、ケアマネジャーしだいという面もあり、本人の意向に沿ったサービス提供ができていないかまでは不明な点もある。
- ⑰介護保険を利用していないが支援が必要と思われる人に対しては、誰がいつから主となって連携体制をつくっていくのか、つくっているのか明確でないため、支援が必要になった時に関わった人でということになっているのか？ また、支援が必要だけれども、助けを求めない人にはどうするのかという課題もあるのではないかとと思う。
- ⑱いろいろなところで他職種連携をしていこうという流れになっており、実際に行われてもいると思う。実際に行った成功例で「事例集」があればそれを参考に展開できるのではないかとと思う。